

ごみの分別をお願いします



出火した収集車の出火原因の調査風景

6月25日(水)10時30分頃、長坂字宝田岱の大巻児童館前で、ごみ収集中の収集車から火災が発生しました。
火災の原因は、可燃性ガスの入ったスプレー缶が圧縮された際に、金属火花が発生して発火したためと思われます。

可燃性ガスが入った容器は必ず
ガスを抜いてから出してください

今回のごみの中にあつたスプレー缶は、本来は「資源(ごみ缶)」の日に出すごみですが、埋立ごみに出されてしまいました。幸い人災被害はありませんでしたが、走行中の収集車火災は大変危険で、事故につながる可能性があります。過去にも18年11月、19年11月と毎年のように発生しています。

一人ひとりがごみを出す際のルールを守ることが大切です。ごみの分別を必ず守って、ごみを出すようにお願いします。
スプレー缶・カセットボンベ
必ず使い切り、風通しがよく近くに火の気がないところでガス抜きをしてから「資源(ごみ缶)」の日に、指定袋を使用して出してください。

使い捨てライター
必ず使い切ってから、埋立ごみの日に指定袋を使用して出してください。

ごみ出しは、市指定の袋を

ごみ出しの指定袋には、燃やせるごみ専用「ペットボトル専用」埋立ごみ・缶・ビン共通の3種類がありますが、最近、燃やせるごみをレジ袋や肥料袋、または市販の大きな透明な袋などでごみ出しするケースが目立ちます。このような

ごみは収集できません。必ず指定袋を使用してください。

ただし、埋立ごみ、缶、ビンに限り半透明のレジ袋の利用が可能です。また、一人暮らしの世帯などで、指定袋が大き過ぎて使用しづらい場合に限り、レジ袋の利用を認めていますので、ご理解とご協力をお願いします。

一時的に多く出る取り草・衣類は「破碎ごみ」へ

取り草刈り取った草や衣類は、通常の分別では少量の場合、燃やせるごみとなつていますが、ごみステーションの大きさによっては、ごみがあふれる場合があります。そのため、一時的に多く出る場合、1世帯で2袋以上は破碎ごみにしています。昨年は、夏から秋にかけて、燃やせるごみの日に大量の取り草が出たため、ごみステーションに生ごみのごみ袋が入りきれず、ガラスの被害に遭った所がありました。

取り草・衣類は、少量で燃やせるごみに混入できる場合を除き、大量に出るときには埋立ごみ・缶・ビン共通、またはペットボトル専用の透明な指定袋に入れ、破碎ごみの日に出すようお願いいたします。

なお、取り草は、土をよく落としてから出してください。

問い合わせ先
環境課環境衛生係

☎ 43 7049